

いつ起こるか分からない災害に備えて

高めよう防災力



いつ訪れるか分からない大規模災害。日頃から十分な備えを行っておくことが、何よりも大切です。町では、災害に備え、新たに最新消防車両2台を導入した他、町内5校の小学校にトイレとしても使える防災備蓄倉庫の整備を行うなど、防災力の強化に努めています。

●平成29年3月1日(水)、3月13日(月)
新たに最新消防車両を2台配備

①総務省無償貸付制度 全国5台のうち1台が 境町消防団第10分団へ配備



境町消防団第10分団の皆さん



新たに配備された最新消防車両の引渡式



車両の操作説明を受ける消防団員の皆さん



②17年ぶりの買い替え 新型消防車両を境町消防団第9分団へ配備



境町消防団第9分団の皆さん



消防団員の皆さんによる新車両の点検の様子

最新消防車両配備で 地域の防災力を高める

3月1日(水)、役場正面玄関前において、総務省消防庁より境町消防団第10分団への消防車両の引渡式が行われました。

これは、総務省の無償貸付制度を活用したもので、全国で5台のうち1台が境町に貸し付けられ、境町消防団第10分団へ配備されました。

最新の車両には、エンジンカタターやチェンソー、自動体外式除細動器(AED)、救命胴衣などが装備されています。

また、3月13日(月)には、町として17年ぶりの買い替えとなる消防車両が納車となり、境町消防団第9分団への引渡式が行われました。

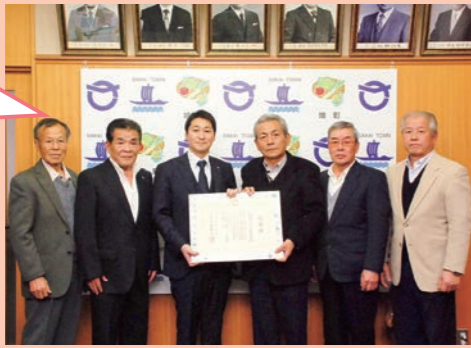
これによって、町では2台の最新消防車両が配備され、いつ起こるか分からない大規模災害などに備えて、ますます地域で地域を守る防災力の強化が期待されます。

●平成29年3月14日(火) 栗山防犯パトロール有志隊へ 県・町から感謝状

栗山防犯パトロール有志隊の自主的なパトロール活動に、県及び町から感謝状が贈られました。

これは、平成24年、近隣でトラックター盗や不審火などが多発していたことから、当時の区長の大谷至功よしのりさんが代表となり、有志17名でパトロール隊を結成され、青色パトロール車でのパトロールを行ってきた功績が認められたものです。

平成24年より有志17名で 防犯パトロールを実施



役場での感謝状贈呈式の様子(写真右から3番目大谷会長)

『安全は地域のみんなで守ろうと始まった活動。地道に続けてきた活動が認められ、とても嬉しかった。今後も地域に密着して活動を続けていきたいです。』

(栗山防犯パトロール有志隊長
大谷 至功さん)

●平成29年4月3日(月) 町内5つの小学校に 防災備蓄倉庫を整備

町は、関東・東北豪雨災害の被災を教訓に、備蓄品や避難所の充実を図るため、災害時に避難所となる町内5つの小学校にトイレとしても使用できる防災備蓄倉庫を整備しました。

この倉庫は、災害時に備蓄品を持ち出した後、四隅を仕切り、組み立て式の便器を設置することで、4人が同時にトイレとして利用できる設計となっており、避難所のトイレ不足の解消とプライバシーの確保にも繋がると期待されています。

災害時はトイレとしても使用可能な 備蓄倉庫を整備



町内5校の小学校に整備された防災備蓄倉庫



4隅を区切りトイレを設置した様子

●平成29年3月4日(土) 境町消防春季点検式 を挙行

J A茨城むつみ本店駐車場において、平成29年境町消防春季点検式が挙行されました。この点検式は、消防防災活動に従事する境町消防団(加藤正則団長)の士気を高め、常に迅速で適切な活動が行えるよう人員・姿勢・服装と機械器具を橋本町長や加藤団長、来賓、近隣の消防団長らが点検するものです。

今年、境小学校6年生の老沼おいぬま一ひとしさんと宮野みやの響愛ひびなさんが一日点検官を務めました。

1日点検官と共に人員・服装・ 機械器具等を点検

